

カンデサルタン錠 12mg 「三和」  
安定性試験（加速試験）

（株）三和化学研究所

2014.08 作成

## 【目的】

カンデサルタン錠 12mg「三和」の安定性を評価するために安定性試験（加速試験）を実施した。  
本試験は、平成3年2月15日付薬審第43号「医薬品の製造（輸入）承認申請に際して添付すべき安定性試験成績の取扱いについて」に基づき実施した。

## 【方法】

### 1. 使用検体及びロット番号

カンデサルタン錠 12mg「三和」      ロット番号：28LH2、29LH1、26L11

### 2. 保存方法

製剤の保存方法を表1に示す。

表1 製剤の保存方法

保存条件	包装形態	保存期間
40±2°C、75±5%RH	PTP包装	開始時、2カ月、4カ月及び6カ月

### 3. 試験項目

試験項目及び保存期間を表2に示す。

表2 試験項目

試験項目		開始時	2カ月	4カ月	6カ月
性状		○	○	○	○
確認試験	紫外可視吸光度測定法	○	○	○	○
純度試験	類縁物質	○	○	○	○
製剤均一性		○	—	—	○
溶出性		○	○	○	○
定量		○	○	○	○

○：測定実施 各ロット3回の測定を実施した。

## 【試験結果】

試験結果を表3に示す。

保存期間を通じて経時的な変化は認められず、規格範囲内であった。

## 【結論】

最終包装製品を用いた加速試験（40°C、相対湿度75%、6カ月）の結果、カンデサルタン錠12mg「三和」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

表3 カンデサルタン錠12mg「三和」(PTP包装)安定性試験結果

試験項目	ロット	保存期間			
		開始時	2カ月	4カ月	6カ月
性状	28LH2	うすいだいだい色の割線入りの素錠であった。	同左	同左	同左
	29LH1	うすいだいだい色の割線入りの素錠であった。	同左	同左	同左
	26L11	うすいだいだい色の割線入りの素錠であった。	同左	同左	同左
確認試験	28LH2	適合	適合	適合	適合
	29LH1	適合	適合	適合	適合
	26L11	適合	適合	適合	適合
純度試験	28LH2	適合	適合	適合	適合
	29LH1	適合	適合	適合	適合
	26L11	適合	適合	適合	適合
製剤均一性	28LH2	適合	—	—	適合
	29LH1	適合	—	—	適合
	26L11	適合	—	—	適合
溶出性(%) <sup>1)</sup>	28LH2	92.3~96.9	87.9~91.2	85.9~93.9	87.4~93.6
	29LH1	92.2~98.0	86.3~93.4	84.0~92.4	88.3~92.7
	26L11	93.5~98.2	86.2~91.9	84.4~88.9	86.5~91.5
定量(%) <sup>2)</sup>	28LH2	99.06	99.26	100.05	99.88
	29LH1	99.56	99.73	99.85	99.89
	26L11	99.57	100.11	99.94	98.64

1)各ロット3回、1回毎に6個の試験を実施し、その最小値と最大値を示した。

2)各ロット3回の試験を実施し、その平均値を示した。